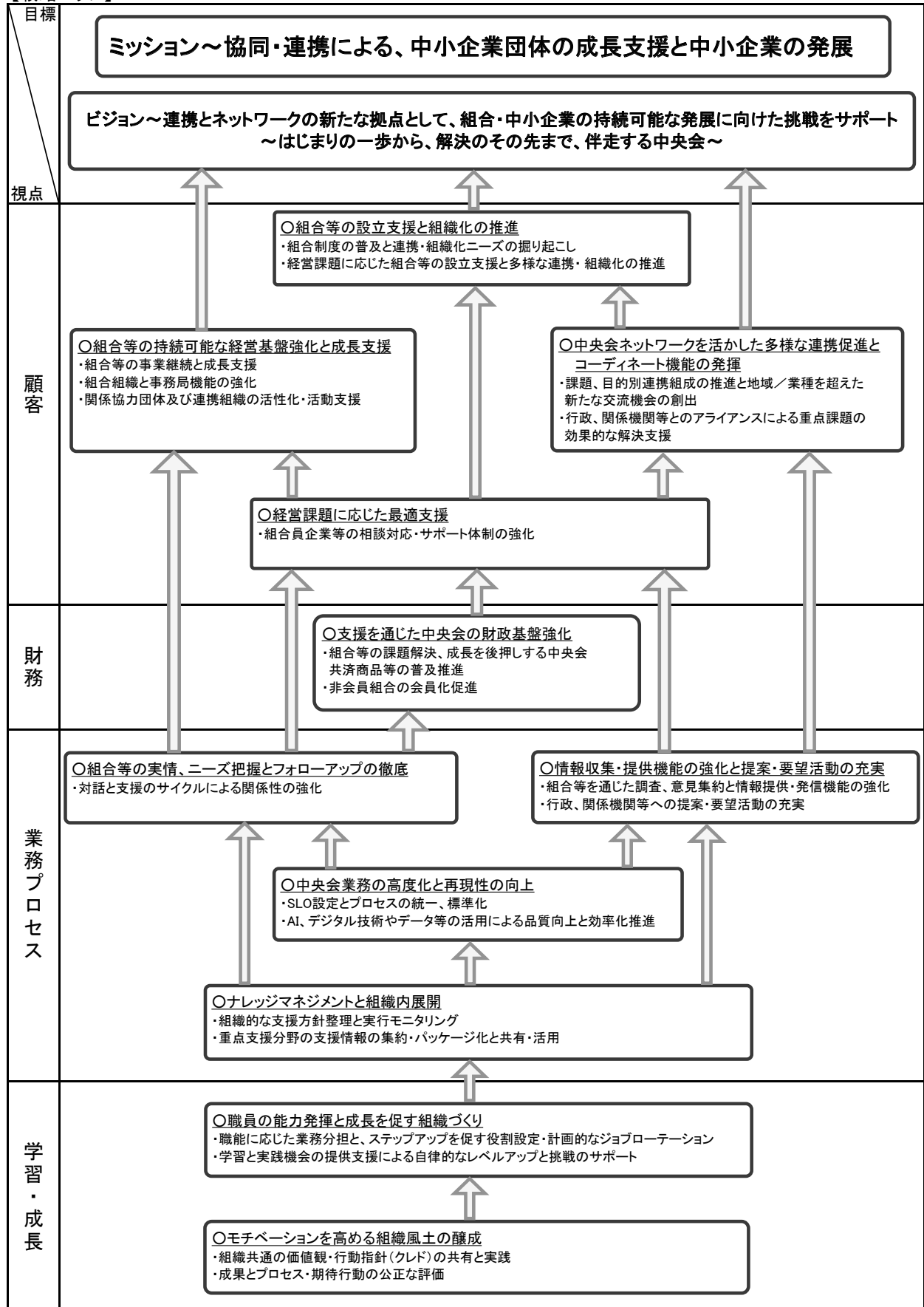


広島県中央会ビジョン 2026

【戦略マップ】



*視点…「バランス・スコア・カード」の4つの視点で戦略を構造化した。

【成果指標】

視点	戦略目標	具体戦略	K P I (成果指標)	現状 (R7)	R8	R9	R10
顧客	○組合等の設立支援と組織化の推進	・組合制度の普及と連携・組織化ニーズの掘り起こし	・実施数【A】 組合制度の活用推進の説明会等の企画、実施（調査等含む）	1	3	4	4
			・【A】の参加者等へのフォロー件数（訪問・面談、情報提供等の行動喚起を促す取り組み）	-	9	12	12
		・経営課題に応じた組合等の設立支援と多様な連携・組織化の推進	・設立、組織化数	0	7	7	7
	○組合等の持続可能な経営基盤強化と成長支援	・組合等の事業継続と成長支援	・支援及び成果件数	64	55	60	65+α
		・組合組織と事務局機能の強化	・支援数	23	20	20	20
		・関係協力団体及び連携組織の活性化・活動支援	・支援数	30	28	28	28
	○中央会ネットワークを活かした多様な連携促進とコーディネート機能の発揮	・課題、目的別連携組成の推進と地域／業種を超えた新たな交流機会の創出	・ビジネスチャンスの創出、交流の支援数（連携倶楽部他、巡回等での働きかけも含む）	71	12	12	12+α
		・行政、関係機関等とのアライアンスによる重点課題の効果的な解決支援	・行政、関係機関等と連携・協働による支援の充実と仕組みづくり	35	25	25	25
	○経営課題に応じた最適支援	・組合員企業等の相談対応・サポート体制の強化	・個社企業からの相談件数	478	450	480	510+α
			・個社企業支援実績（計画作成、補助金獲得等）	72	50	55	60+α
財務	○支援を通じた中央会の財政基盤強化	・組合等の課題解決、成長を後押しする中央会共済商品等の普及推進	・企画－実施とPDCA実践	-	R6総合保障団体事務費収入決算額に対し毎年度1%増		
		・非会員組合の会員化促進	・年度ごとの推進方針・計画に基づく展開	-	R8は外国人技能実習生受入組合を対象に推進		
業務プロセス	○組合等の実情、ニーズ把握とフォローアップの徹底	・対話と支援のサイクルによる関係性の強化	・コンタクト数（巡回等、相談件数）	6,357	7,000	7,200	7,600
			・案件の支援方針に基づく行動率	-	100%	100%	100%
	○情報収集・提供機能の強化と提案・要望活動の充実	・組合等を通じた調査、意見集約と情報提供・発信機能の強化	デジタル基盤の構築と活用拡大	-	構築・運用開始	電子化情報の拡充と、組合員企業への情報発信・収集強化	
		・行政、関係機関等への提案・要望活動の充実	・国・県等への提案・要望数	9	8	8	8
	○中央会業務の高度化と再現性の向上	・SLO設定とプロセスの統一、標準化	プロセス等の改善	-	対象業務・範囲選定－プロセス構築－運用・改善		
		・AI、デジタル技術やデータ等の活用による品質向上と効率化推進	・電子化、システム化及びツール整備等	-	対象業務・範囲選定－電子化・システム化（ツール選択）－運用開始・改善		
	○ナレッジマネジメントと組織内展開	・組織的な支援方針整理と実行モニタリング	・支援会議の開催数	-	36	36	36
		・重点支援分野の支援情報の集約・パッケージ化と共有・活用	・支援パッケージの組織内展開数	-	年6回/分野		
学習・成長	○職員の能力発揮と成長を促す組織づくり	・職能に応じた業務分担と、ステップアップを促す役割設定・計画的なジョブローテーション	・各人の育成方針に基いた実施	-	随時実施		
		・学習と実践機会の提供支援による自律的なレベルアップと挑戦のサポート	・年1回以上自己研鑽又は事業提案に取り組んだ職員（非管理職）の割合	-	100%	100%	100%
	○モチベーションを高める組織風土の醸成	・組織共通の価値観・行動指針（クレド）の共有と実践	・職員によるクレドに基づく行動の組織展開	-	好事例の定期的モニタリングと組織共有		
		・成果とプロセス・期待行動の公正な評価	・評価諸制度の改善・充実	-	検証と改訂		

+α：本所の移転先において、関係支援機関が集積する「広島産業経済センター（仮称）」を構築する構想の具体化が進められている。
この「広島産業経済センター（仮称）」における支援体制・機能を見極め、令和9年度において目標値を設定する。